単元名

事実と意見を結びつけて書こう

「提案文を書こう」

 第５学年　Ｂ書くこと

内容のまとまり

　第５学年及び第６学年

〔知識及び技能〕（1）言葉の特徴や使い方に関する事項

〔思考力，判断力，表現力等〕「Ｂ書くこと」

小学校国語科　檜山教育研究所

キーワード　「書くこと」における構成メモを活用した指導

１　単元の目標

　(1) 文の中での語句の係り方や語順，文と文との接続の関係，話や文章の構成や展開，話や文章の種

類とその特徴について理解することができる。

(2) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

(3) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えることができる。

(4) 言葉がもつよさを認識するとともに，進んで読書をし，国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

２　単元で取り上げる言語活動

　身の回りの学校生活から課題を見付け，自分たちの生活をよりよくするための提案文を書く。

（関連：〔思考力・判断力・表現力等〕Ｂ(2)ア）

３　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①文の中での語句の係り方や語順，文や文との接続の関係，話や文章の構成や展開，話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） | ①「書くこと」において，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（Ｂ(1)ウ）②「書くこと」において，文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えている。（Ｂ(1)オ） | * 1. 積極的に身のまわりの生活から課題を見付け，学習課題に沿って事実と意見を結び付けて提案文を書こうとしている。
 |

４　指導と評価の計画（全５時間）

「・：指導に生かす評価を行う代表的な場面」，「○：全員の学習状況を記録に残す評価を行う場面」

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 評価規準（評価方法） |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| １ | 身近な学校生活の中から，自分たちがよりよく生活するための課題と改善するための具体的な提案内容を考える（改善できそうなテーマを設定する）。 | ・知①（ノート） |  | ○態①（行動観察・ノート） |
| ２ | 「始め・中・終わり」などの構成や段落を意識して，自分の考えが伝わるように提案文の構成メモを作る。 |  | ・思①（原稿用紙） |  |
| ３本時 | 構成メモを踏まえ，事実と感想，意見を区別し，提案するための文章（ワークシート）を書く（本時）。 |  | ○思①（ワークシート） |  |
| ４ | ワークシートに書いた，提案するための文章について助言し合う。提案するための文章をもとに，自分の考えが明確に伝わるよう，提案文を書く。 | ○知①（原稿用紙） |  | ○態①（行動観察，原稿用紙） |
| ５ | 提案文を読み返し，ポイントにそってチェックし，文や文章を整える。 | ・知①（原稿用紙） | ○思②（行動観察，原稿用紙） |  |

５　本時案（３／５）

（1） 本時の目標

　　　自分の考えが伝わるように，事実と感想，意見とを区別し提案するための文章を書くことができる。

（2） 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○学習活動　・児童の反応 | ◇留意点　☆評価 |
| 導入 | ○前時までの学習内容を振り返る。・構成メモを書いて，始めの部分の文章を書いた。○掲示物を用いて，教科書に載っている提案文の構造を確認する。・この部分は，事実と感想，意見になっている。・事実，感想，意見の順になっている。○課題を確認する。　課 構成メモをもとに，事実と感想，意見を区別して提案する文章を書こう。 | ◇前時までの学習を教科書の本文を拡大した掲示物を用いて想起させる（事実，感想，意見の順に記述されている）。◇構造を理解するための掲示物の活用 |
| 展開 | ○構成メモに書かれていない５Ｗ１Ｈのような詳しいことを書くと，より事実が伝わりやすいことを理解する。・構成メモに書いている内容より文章が増えている。・「いつ，どこで，誰が，どんなふうに，何をした」ということを書くと，見ていない人でも事実の状況がわかりやすくなるんだ。○事実と感想，意見を区別しながら，構成メモをもとに提案するための文章を書く。事実「私は○○で，～～な様子を見ることがあります。」感想「～する様子を見て，私は…だと感じます。」意見「そのため，私は○○することが学校生活をよりよくするために大切だと思います。」 | ◇５Ｗ１Ｈを使うと，詳しくなることを教師の例示で示す。◇構造を理解するための掲示物の活用☆思①事実と自分の考えや感想を区別して書いている。（ワークシート）◇どんな順番で書くとよいか問いかける。・事実と感想，意見の順で書くといいのかな。◇困っている児童が複数見られた場合は，一度全体で事実，感想，意見の区別を確認する。◇区別の仕方を提示しても困難な児童に対しては，構成メモの例の提示など個別に支援する。 |
| 終末 | ○学習課題をどれほど達成できたか振り返る。＜振り返りの観点＞〇事実と感想，考えを区別して書けたか？〇構成メモを活用して，提案するための文章を書けたか？○次時の活動の見通しをもつ。 |  |

５　「主体的に学習に取り組む態度」の評価の実際

　本単元では「主体的に学習に取り組む態度」①の「積極的に身のまわりの生活から課題を見付け，学習課題に沿って事実と意見を結び付けて提案文を書こうとしている」という状況を，自分たちの生活をよりよくするための課題を見付け，具体的な改善策を考え，提案文に記述しようとする姿から見取った。

　具体的には，第１時の学校内探索で，身のまわりの課題を見付ける学習過程の中でワークシートの記述から見取った。また，第４時で，ワークシートに書いた，提案するための文章について付箋で助言し合い，その助言をもとに，実際の提案文に記述する段階で自分の考えが伝わるように，事実と意見を結び付けて記述しようとしている姿や記述から見取った。



参考文献

国立教育政策研究所「「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料小学校国語」，2020年